

# 名人・達人 評判倶楽部 THE GREATEST PEOPLE

“退屈を知らない男”です。

## PROFILE

### 西山 幸光

(有) 西山商店 取締役、当協会青年  
部会総務幹事を務める。

生まれ / 昭和33年2月 大阪府

血液型 / O型

信条 / 自分の一生は良かったと思える  
人生を過ごすこと

夢 / 自然体で暮らすこと。

嫌いなこと / うそを言って人をだます  
こと。



YUKIMITSU NISHIYAMA

今回は自宅へ招かれてのインタビューです。ご主人の思いもかけぬ早い時間の帰宅に、喜んで走り回る二匹の犬にじゃれつかれつつ、まずはガレージの秘蔵マシンを拝見。そこにはホンダビートに加え、オフロードレース用の二台のバイクが。西山さんの名人・達人ぶりはモータースポーツにあり？

趣味はこだわり続けて、道楽の域へ。

— きれいですねえ、このクルマ。

西山 取締役 (以下西山に略) 『6千キロしか乗ってませんからね。みんな売れ売れ、っていうけど売れません。ずっと持ってるつもりです。』

— このバイクでレースに出るんですか。

西山 『そうです。オフロードですけどね。車に積んでいって山を走ったりもしますよ。この白なのがKTM (オーストリア製)。こちらがIT200 (U・Sヤマハ製) です。』

— わあ、本格的ですねえ。このガレージが西山さんのプライベートルームといったところですか。

西山 『子供の頃から家を持ったらガレージを造るのが夢だったんですけどね、全部人に頼むとお金がかかるでしょ。自分でできることは自分で何とかやりました。ここでバラシたり組んだり、いろいろやってます。』

(このあと家の中のコレクションルームへ。玄関にも廊下にも、趣のある絵やリトグラフが飾られており、ひとつひとつを楽しそうに説明してくれる。

話しぶりから趣味は、車やバイクだけではなくさそう…。2階の6畳ほどの部屋に通される。)

— あらあ、たくさんの本！小説・宗教・ノンフィクション。小道迷子さんの漫画までありますねえ。

西山 『本が好きなんです。母が本好きだったせいもありますけどね。僕、大学が2部で、昼間は会計事務所  
で仕事してましたから、遊びに出る時間がなかったんです。それもあってよく読むようになりましたね。本屋で目につくものを買ってきますから、こううふうになっちゃうんです。』

— これはマッキントッシュのパソコンですね。

西山 『今ではこの型はオールドタイプですが、時々これで遊んでいます。このベンツね、明治天皇が御料車に使ってらっしゃったベンツのミニチュアです (と、ミニチュアカーがズラリと並べられた戸

棚をあける。これがトラックローのベツツ、こちらが石原裕次郎が乗ってたヤツですね。』

— スキなコレクションですね。車関係の図鑑なんかも多い。こうしたものを集めるのは大変でしょう。

西山『ええもう、お金かかってしょうがないですよ(笑)。』

— するとこれは趣味から道楽の域に入ると言えますね。

(場所を居間に移して)

— お仕事、お忙しいと思いますが、好きなことを楽しむ時間は取れますか。

西山『ええ、よほどの仕事がない限り、土・日は休めますからね。バイクを山へ持って行って練習します。』

— バイクのレーズ歴は長いんですか。

西山『高校時代からですね。ところが僕は、レースで競り合いになると、一歩引いちゃうんです。競り合いの瞬間で、ケガすると仕事にさしさわりがある、なんて考えてしまうんですね。それにオートバイクでケガすると、遊んでケガしたっていうことになるから、あとがツライですよ。今は林

道とかオートブレイクアミアミみたいなところを走るのが好きです。アメリカとかいいですね。』

— レースでひどいケガをなさったことがあるんですか。

西山『レースでひどいのはまだないです。中学の3年の時に新聞配達のアールバイクをしてたんですが、その時にまたまた人の運転するバイクの後ろに乗って、転んで入院したことがあります。おかげで修学旅行に行けなかったんですよ。』

— 免許取る前にそんなひどい目にあつたのに、バイクに乗れたかっ?

西山『バイクはやっぱりいいですよ。車と違って体が外に出てるでしょ。道路のクッション、対向車、いろんな情報が直接伝わってくる。自分が一番弱いところを感じてですね。だから乗ると考えごとをしない。それがいいですね。』

— 無我の境地ですか。

西山『いや、ノベリ山なんか走ってる時は“桜が咲いたなあ”とか“空がキレイだなあ”とか、考えるというより感じるんですよ。街の中ではないですけどね。去年は5月の連休に、長野を走りました。なるべく除雪してあるところを選んで走



たんですが、滑ってコケましたねえ。まあ、でも、山はホントに好きです。』

—私なんかは、映画を観にいくのでも、旅行をするのでも、その楽しみを分かちあったり、盛り上げあったりする誰かが一緒でないとダメなんですね。西山さんは仲間もいらっしゃるけど、一人であちこち探訪されるのも好きなんですね。一人の醍醐味ってどんなものでしょう。

好きなことをトコトンしていれば、  
退屈なんてしません。

西山『一人は楽しいですよ。いろいろ気付くことがあるんです。山で一人でテントなんか張っていると、コワくてしょうがないんです。人間って弱いなあ、と思うんですね。野生の動物とか襲ってきたら、ひとたまりもないでしょう。僕らは、普段いろんなものを背負ってますでしょ。見栄とか意地とか。ところが山に一人で4~5日もいると、そんなもの、あとかたもなくなってしまふ。自然の前には無意味ですからね。色々な垢がたまると、また行きたくなる。』

—身軽になる快感ですね。

西山『そうです。楽しいです。自分しかない、言い訳しかない、道をまちがえても、スプーンを忘れても、誰のせいでもない。自分のせいなんですね。車でどこか行く時は、車という箱が、ある程度は自分を守ってくれますが、バイクで山へ行く時は、いろんな条件が、すべて自分に直接ぶつかってきますよね。だから、準備するものは、全部自分で厳選します。』

—レースも、ツーリングも、準備の段階から、すでに始まっているわけですね。

西山『準備も楽しいですよ。日常の煩わしいことが、すごくシンプルに考えられてきます。』

—そうしたモノの考え方の傾向というか、自分の

あるがままへの欲求というの、いつ頃から強くなってきたんでしょう。

西山『いやあ、これは小さい頃からですねえ。動くものが好きで、どこか行くのが大好きで、放浪癖がありました。僕は子供の頃から自転車が好きでね、高一の時に京都から舞鶴、山陰を通過して下関から関門トンネルを抜けて、熊本、阿蘇山、別府まで行ったことがあります。』

—高一で？一人ですか!!

西山『そうです。当時はユースホステルも安くて、一泊二食で800円でした。お昼を食べても一日千円あれば済みましたからね。四国、北陸、伊豆など、親の仕事を手伝ってもらったお金を貯めてね、よく行ったもんです。』

—西山さんはエライですね。中学の頃は新聞配達、大学時代もお仕事を持ってたし、自分の好きなことに使うお金は、子供の頃から自分でまかなってたんですね。

西山『いやあ、ウチが商売屋ですからね。よく親とケンカもしました。すると“あー、自転車でどこか行きたいなあ…”とか思いましたね。当時、本で読んだんですが、カナダには“トランス・カナダ・ハイウェイ”っていうのがあって、日本でいう国道一号線のような感じなんです。太平洋から大西洋まで、まっすぐに伸びてるんですね。もう、憧れましてね。あぁいいなあ、行きたいなあ、と地図をみては楽しんでました。ケンカすると、家出して行ってみようかなあ、なんて(笑)。』

—今なら行けるんじゃないですか。あきらめないで。

西山『もう、そんな体力ないですよ(笑)。』





—まあ、ホントに好きなコトが多くて、退屈しない人ですねえ。退屈って感情、わかんないでしょ。

とかが。』

通ってました。あと、金子由香利さんのコンサートが木の美ナナさんのショー・ガールは18時から毎回の近松心の中も観たし、もう終わってしまいました。話します。僕、芝居も好きでしてね。太地喜和子さートバイの乗り方についてなんか、もうエッセーとリ“話”ですけれどね。今読んでる本のこととか、オ西山『友達と酒飲んだりもしますよ。カラオケよ

て、バイクいって、読書ですか。

—毎日、お仕事が終わると家へ直行。犬の散歩し喜び、みたいなところがありますけれど。』

アカタロウとか図鑑なんかは、ある程度、持ってる西山『ありますよ。風呂はいりながらとかね。ま

にあるたくさん本、読む時間なんてあるんですか。余暇を十分に満喫してらっしゃるようですが、二階—しかし、西山さん。レースにツリーングにと、

ですね(笑)。』

西山『確かに“退屈するヒマ”っていうのはない

やましい。

ある意味では、非常に贅沢な生活に思えます。うら事もちゃんとしてらっしゃって、なおかつ、ですね。すけど、西山さんに限っては全く違いますね。お仕—日本人は余暇を楽しむのが下手だとか言われまで。生クリームはコーヒードで代用してますけれど。』

西山『ある程度、3回に1回はきれいに巻けるよる、と言いますし。

クさんの修業はオムレツに始まってオムレツに終わ

—フレンチオムレツですか。むずかしいでしょう。せやるなら、おいしいのかいいますよね。』

西山『単純に僕、卵が好きなんですから。どう

—オムレツ? また、どうしてですか。

ライパンも買いました。』

西山『あ、今ね、オムレツに凝ってるんです。フ

## INTERVIEWER

花井 美紀

(株) コミュニケーションズ代表  
 トメント同僚・コーポレート・  
 ビジネスアドバイザー  
 信用金庫各女子職員連の専任講師。  
 TV、ラジオ等で現在活躍中。

